

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		プール一般開放安全委員会運営事務事業			②事業番号		7601				
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		平成 23 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		○ 規則		要綱		計画等		その他	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		1		目	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		細目		2	
								会計		一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① プール一般開放安全委員会委員		① 委員数		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
学校プール一般開放事業について、事業の実施にあたり、安全性の確保の観点から幅広い分野の方々から助言を求める。		① 開催数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
学校プール一般開放事業について、実施の範囲、程度、管理運営について、調査を行い、意見を述べる。		① 意見、提案数		個	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
会議を通して、改善点などを話し合い、より安全なプールの一般開放を目指す。		政策(章) 1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち			
		施策大(節) 4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします			
		施策中 3 青少年、子どもの健全育成			
		施策小 4 子どもの居場所づくり			

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①		委員数	人	8	8	8	0	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①		開催数	回	1	2	2	0	—	
活動指標②									学校プールの一般開放事業の休止になったためR元以降は会議を行わない予定。
活動指標③									
成果指標①		意見、提案数	個	1	2	2	0	—	
成果指標②									事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.07	0.07	0.04	0.00		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	324	324	324	0		
	直接事業費	千円	30	75	68	0			
	総事業費	千円	399	392	392	0			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—	
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	受益者負担金	千円	0	0	0	0			
	その他特定財源	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	392	392	392	0			

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	学校プール一般開放における第三者委員会による事故調査報告書に基づき、設置された組織。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	会議を通じ、問題点について議論し、より安全なプールの一般開放につなげる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する アイ. ある程度 ウ. しない	会議を通じ、安全、安心なプールの一般開放につなげる。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい アイ. ある程度 ウ. いいえ	一般開放事業が市において実施しているため、利用者の意見を広く聞く必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	プールの一般開放については、市民の要望も多く、より安全、安心な事業を行う必要がある。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない	学校プール一般開放事業の安全性が確保されなくなる。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	会議では活発な意見交換が行われ、提案も出されている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	会議では、意見交換が活発に行われている。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	プールの一般開放事業については、教育委員会において実施しているため。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	プール一般開放での安全性を確保するためには、コスト削減は困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	受益者負担を求めるような事業ではない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	D	学校プールの一般開放事業の休止に伴い本事業も休止とする。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

工	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 ↓ (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 ↓ (1 年から)</p> <p>オ. 廃止 ↓ (___ 年から)</p>
	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—